

2007 年度

科目名	対象学科・学年 教育教福 4 回生	担当者
ゼミナールⅡ		高村 博正
授業テーマ 3 年生のゼミⅠで行った各種の訓練法と討論および調査を出発点として、英語教育の可能性を考えます。または自由研究。		
授業の概要と目標 「英語」というキーワードを核として、各自が自由な研究を行います。英語以外のテーマ・ジャンル・視点でももちろん構いません。各種の研究手法の紹介や実習は前期に行い、後期は各自が設定した研究目標にむかって実践する方向に進んでください。イメージネーションをふくらませて、意義のある一年間の教育・研究活動を体験してほしいと思います。各自の卒論テーマをめぐって各自が自由にアボを取り、毎週（または適宜）個人研究室において個人指導を受けることになります。		
評価方法 毎回の出席と発表状況を評価します。学生←→教師評価も行います。		
テキスト 各自の研究目標にあわせて指導します。	著者	出版社
参考書 授業中に印刷物（ハンドアウト）で適宜知らせます。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 計画発表とブレイン・ストーム ゼミとしての一体感、共同作業にふさわしい環境づくりをします。 2. パソコンの使い方 卒論作成に必要なインターネット操作を練習します。 3. 卒業生の論文を輪読（1） 過去のゼミ先輩の卒業論文など研究成果を辿ります。 4. 卒業生の論文を輪読（2） 過去のゼミ先輩の卒業論文など研究成果を辿ります。 5. 討論会（1） 自分の希望する研究対象をクラスで発表します。 6. 討論会（2） 自分の希望する研究対象をクラスで発表します。具体的な計画表を提示します。 7. 学会参加（1） 大阪大谷大学教育福祉学部主催の学会に参加します。 8. 各自の研究テーマ紹介と討論 ゼミ全員が集合して討論する授業はこれで終わります。以後は個人指導。 9. 研究テーマ発表と紹介（1） 研究資料収集と実践と個人指導です。 10. Moodleによる実習（1） 時・場所・環境を超えた論文作成支援システムを利用します。添削を中心にします。 11. Moodleによる実習（2） 時・場所・環境を超えた論文作成支援システムを利用します。過去の添削を利用。 12. Moodleによる実習（3） 時・場所・環境を超えた論文作成支援システムを利用します。同時相互評価を利用。 13. 研究テーマ発表と紹介（2） 研究資料収集と実践と個人指導です。 14. 研究テーマ発表と紹介（3） 研究資料収集と実践と個人指導です。 15. 後期ゼミナールの計画発表 後期最後の論文作成と提出に向けての準備計画を公開します。 16. 研究テーマ発表と紹介（1） 卒論の具体的な計画を発表します。 17. 学会参加（2） 大阪大谷大学教育福祉学部主催の学会に参加します。 18. 研究テーマ発表と紹介（2） 担当者に論文テーマを報告します。 19. 研究テーマ発表と紹介（3） 担当者と論文テーマについて討論します。 20. 口頭発表と討論（1） 担当者和其他のゼミ生に卒論の概略を発表します。以下の4回のみ集まります。 21. 口頭発表と討論（2） 担当者和其他のゼミ生に卒論の概略を発表します。 22. 口頭発表と討論（3） 担当者和其他のゼミ生に卒論の概略を発表します。 23. 口頭発表と討論（4） 担当者和其他のゼミ生に卒論の概略を発表します。 24. 論文作成支援（1） 論文作成個人指導です。 25. 論文作成支援（2） 論文作成個人指導です。 26. 論文作成支援（3） 論文作成個人指導です。 27. 論文作成支援（4） 論文作成個人指導です。 28. 論文作成支援（5） 論文作成個人指導です。 29. 論文作成支援（6） 論文作成個人指導です。 30. 論文提出 教務課に卒論を提出し、担当者に提出を報告してください。		